



Red Hat Virtualization 4.2

管理ポータル概要

管理ポータルへのアクセスおよび使用

Red Hat Virtualization 4.2 管理ポータル概要

管理ポータルへのアクセスおよび使用

Red Hat Virtualization Documentation Team
Red Hat Customer Content Services
rhev-docs@redhat.com

法律上の通知

Copyright © 2018 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat Software Collections is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本ガイドは、Red Hat Virtualization 管理ポータルの使用方法について説明します。

目次

第1章 管理ポータルの使用	3
1.1. 管理ポータルとは	3
1.2. ブラウザーおよびクライアントの要件	3
1.3. グラフィカルユーザーインターフェースの構成要素	3
1.4. ガイド機能の使用	4
第2章 検索	6
2.1. RED HAT VIRTUALIZATION での検索	6
2.2. 検索構文および例	6
2.3. 検索のオートコンプリート機能	6
2.4. 検索における結果タイプのオプション	7
2.5. 検索条件	7
2.6. 検索: 複数の条件とワイルドカード	9
2.7. 検索: 検索結果のソート順の指定	9
2.8. データセンターの検索	10
2.9. クラスターの検索	10
2.10. ホストの検索	11
2.11. ネットワークの検索	13
2.12. ストレージの検索	14
2.13. ディスクの検索	15
2.14. ボリュームの検索	17
2.15. 仮想マシンの検索	18
2.16. プールの検索	20
2.17. テンプレートの検索	20
2.18. ユーザーの検索	21
2.19. イベントの検索	23
第3章 ブックマーク	25
3.1. クエリー文字列のブックマークとしての保存	25
3.2. ブックマークの編集	25
3.3. ブックマークの削除	25
第4章 タグ	26
4.1. タグを使用した、RED HAT VIRTUALIZATION との対話のカスタマイズ	26
4.2. タグの作成	26
4.3. タグの変更	26
4.4. タグの削除	26
4.5. オブジェクトへのタグの追加と削除	27
4.6. タグを使用したオブジェクトの検索	27

第1章 管理ポータルの使用

1.1. 管理ポータルとは

管理ポータルは、Red Hat Virtualization Manager サーバーを管理するためのグラフィカルインターフェースです。管理者は、Web ブラウザーから仮想環境内の全要素をモニタリング/作成/維持管理することができます。管理ポータルでは以下のようなタスクを実行することができます。

- 仮想インフラストラクチャー (ネットワーク、ストレージドメイン) の作成と管理
- ホストのインストールと管理
- 論理エンティティ (データセンター、クラスター) の作成と管理
- 仮想マシンの作成と管理
- Red Hat Virtualization のユーザーおよびパーミッションの管理

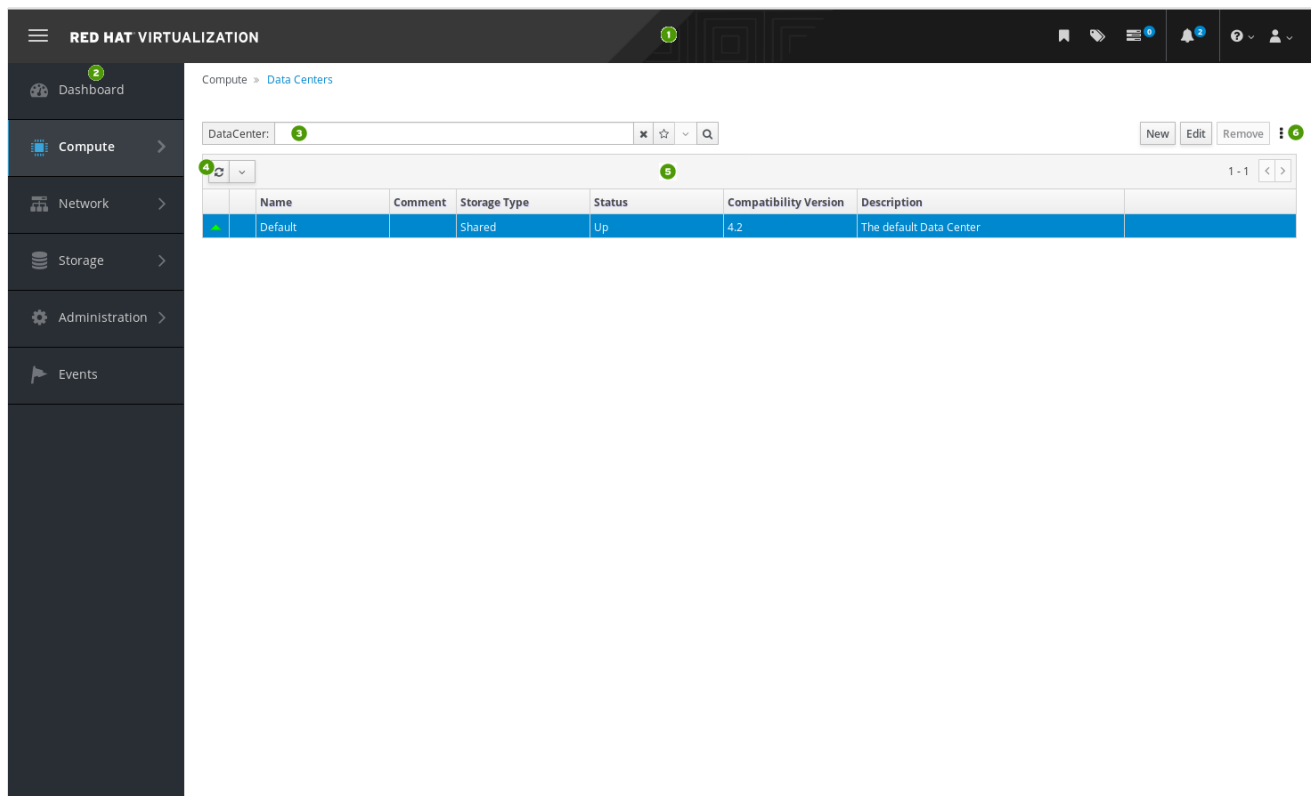
1.2. ブラウザーおよびクライアントの要件

『プランニングおよび前提条件ガイド』の「[ブラウザーの要件](#)」および「[クライアント要件](#)」を参照してください。

1.3. グラフィカルユーザーインターフェースの構成要素

Red Hat Virtualization の管理ポータルは、コンテキストペインとメニューで構成されています。

図1.1 グラフィカルユーザーインターフェースの主要構成要素



グラフィカルユーザーインターフェースの主要構成要素

- **1** ヘッダーバー

ヘッダーバーには、ブックマーク、タグ、タスク、イベントおよびアラートの通知 アイコン、ヘルプ ドロップダウンボタン、および ユーザー ドロップダウンボタンがあります。

ヘルプ ボタンをクリックすると、ガイド (『[Red Hat Virtualization Administration Guide](#)』へのショートカット) または Red Hat Virtualization のバージョン情報が表示される **バージョン情報** を選択することができます。ユーザー ボタンをクリックすると、**オプション** または **サインアウト** を選択することができます。

- **2** メインナビゲーションメニュー

メインナビゲーションメニューからは、Red Hat Virtualization 環境のリソースを表示することができます。

- **3** 検索バー

検索バーを使用すると、クエリーを構築して、Red Hat Virtualization 環境内のホストやクラスターなどのリソースを検索することができます。システム内の全ホストの一覧のような単純なクエリーや、特定の条件に一致するリソースの一覧のような、より複雑なクエリーを使用することができます。検索クエリーの一部を入力すると、検索構築に役立つ選択肢が提供されます。星印のアイコンは、検索をブックマークとして保存する際に使用することができます。

- **4** 更新間隔ボタン

リフレッシュ ボタンにより、管理ポータルが最新の情報に更新されます。リフレッシュボタンの横にあるドロップダウンリストを使用すると、管理ポータルの更新間隔を秒単位で設定することができます。操作を実行してからその結果がポータルに表示されるまでの時間の遅れを避けるために、更新間隔にかかわらず、操作の実行やイベント発生たびにポータルは自動的に更新されます。

- **5** 結果一覧

結果一覧に表示される、単一、複数、またはすべての項目に対してタスクを実行することができます。項目 (複数可) を選択し、適切なアクションボタンをクリックしてください。

結果一覧の各コラムを表示または非表示にすることができます。そのためには、いずれかのヘッダーを右クリックしてコラム制御メニューを表示し、該当するコラムのタイトルを選択または選択解除します。コラム制御メニューを使用して、コラムの表示順序を変えることもできます。メニュー内でコラムのタイトルを必要な位置にドラッグアンドドロップしてください。

リソースの名前をクリックすると、その詳細ビューが表示されます。

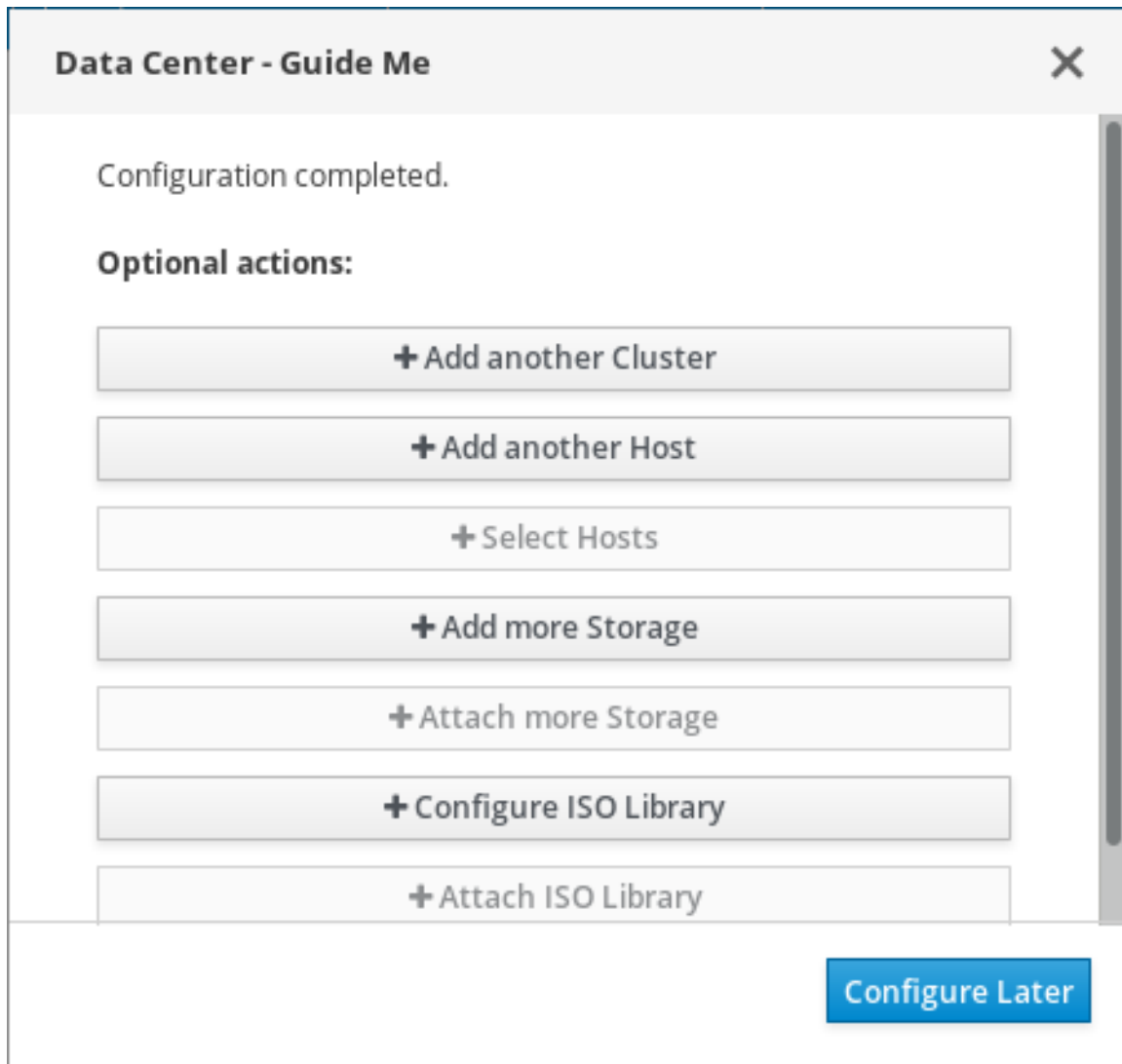
- **6** その他の操作ボタン

その他の操作 ボタンを使用して、さらに別のタスクを実施することができます。

1.4. ガイド機能の使用

データセンターやクラスターなどのリソースを設定する際には、複数のタスクを順番に完了する必要があります。状況依存の **ガイド** ウィンドウは、設定中のリソースに適したアクションを促します。その他の操作 → **Guide Me** をクリックすると、**ガイド** ウィンドウに随時アクセスすることができます。

図1.2 「データセンター - ガイド」 ウィンドウ



第2章 検索

2.1. RED HAT VIRTUALIZATION での検索

管理ポータルでは、仮想マシン、ホスト、ユーザーなど、数千におよぶリソースの管理ができます。検索を行うには、検索クエリー (フリーテキストまたは構文ベース) を各リソースのメインページに表示される検索バーに入力します。特定の検索結果が必要な場合に検索クエリーを毎回入力しなくても済むように、検索クエリーをブックマークとして保存しておいて、後で使用することができます。検索では、大文字と小文字が区別されます。

2.2. 検索構文および例

Red Hat Virtualization リソースの検索クエリーの構文は、以下のとおりです。

result type: {criteria} [sortby sort_spec]

構文の例

以下の表には、検索クエリーの使用例を記載しています。これにより、Red Hat Virtualization での検索クエリーの構築方法を理解することができます。

表2.1 検索クエリーの例

例	結果
Host: Vms.status = up	稼働中の仮想マシンを実行している全ホストの一覧を表示
Vms: domain = qa.company.com	指定したドメインで稼働中の全仮想マシンの一覧を表示
Vms: users.name = Mary	ユーザー名が Mary のユーザーに属する全仮想マシンの一覧を表示
Events: severity > normal sortby time	normal より重大な全イベントの一覧を時間順に表示

2.3. 検索のオートコンプリート機能

管理ポータルは、正しく有効な検索クエリーの作成に役立つオートコンプリート機能を提供しています。検索クエリーの一部を入力すると、検索バーの下に、後に続く箇所の選択肢がドロップダウンリストに表示されます。このリストから選択して入力/選択を続けることができます。また、オプションを無視して手動でクエリーの入力も可能です。

クエリー構築に管理ポータルのオートコンプリート機能を活用する方法を、以下の表で例を挙げて説明します。

Host: Vms.status = down

表2.2 オートコンプリートを使用した検索クエリーの例

入力	一覧表示される項目	アクション
h	Hosts (オプションは1つのみ)	Hosts を選択もしくは Hosts と入力
Host:	ホストの全プロパティ	v と入力
Host: v	v で始まるホストのプロパティ	Vms を選択もしくは Vms と入力
Host: Vms	仮想マシンの全プロパティ	s と入力
Host: Vms.s	s で始まる仮想マシンの全プロパティ	status を選択もしくは status と入力
Host: Vms.status	= !=	= を選択または入力
Host: Vms.status =	すべてのステータス値	down を選択または入力

2.4. 検索における結果タイプのオプション

結果タイプを指定して、以下のいずれかのタイプのリソースを検索することができます。

- **Vms:** 仮想マシンの一覧
- **Host:** ホストの一覧
- **Pools:** プールの一覧
- **Template:** テンプレートの一覧
- **Events:** イベントの一覧
- **Users:** ユーザーの一覧
- **Cluster:** クラスタの一覧
- **Datacenter:** データセンターの一覧
- **Storage:** ストレージドメインの一覧

各リソースタイプには、固有のプロパティセットと、それが関連付けられたその他のリソースタイプのセットがあります。また、各検索タイプには、一式の有効な構文の組み合わせがあります。オートコンプリート機能を使用すると、正しいクエリーを容易に作成することができます。

2.5. 検索条件

クエリーのコロンの後に、検索条件を指定することができます。**{criteria}** の構文は以下のとおりです。

<prop><operator><value>

または

<obj - type><prop><operator><value>

例

以下の表には、構文の各要素についての説明をまとめています。

表2.3 検索条件の例

要素	説明	値	例	注記
prop	検索対象となるリソースのプロパティ。リソースタイプのプロパティ (obj - type を参照) または tag (カスタムタグ) を指定することも可能。	検索条件に特定のプロパティを設定 (status プロパティに関する検索)	Status	N/A
obj-type	検索対象となるリソースに関連付けできるリソースタイプ	データセンターや仮想マシンなどのシステムオブジェクト	Users	N/A
operator	比較演算子	= != (等しくない) > < >= <=	N/A	プロパティによって、値のオプションが異なる

要素	説明	値	例	注記
value	式の比較対象	文字列 整数 ランキング 日付 (地域設定に応じた形式)	Jones 256 normal	<ul style="list-style-type: none"> 文字列内にワイルドカードを使用することが可能 初期化されていない (空の) 文字列を示すには、"" (一組の二重引用符。間にはスペースなし) を使用することが可能 空白を含む文字列や日付は、二重引用符で囲む

2.6. 検索: 複数の条件とワイルドカード

構文の `<value>` 要素の文字列には、ワイルドカードを使用することができます。たとえば、`m` で始まる全ユーザーを検索するには、`m*` と入力します。

AND や **OR** などのブール演算子を使うと、2つの条件で検索を行うことができます。例:

```
Vms: users.name = m* AND status = up
```

上記のクエリーは、名前が「m」で始まるユーザーの実行中の仮想マシンをすべて返します。

```
Vms: users.name = m* AND tag = "paris-loc"
```

上記のクエリーは、名前が「m」で始まるユーザーの「paris-loc」とタグ付けされた仮想マシンをすべて返します。

AND または **OR** を使わずに2つの条件を指定すると、**AND** が暗黙的に指定されます。**AND** は **OR** より優先され、また **OR** は、暗黙的な **AND** より優先されます。

2.7. 検索: 検索結果のソート順の指定

`sortby` を使用することにより、返される情報のソート順を指定することができます。また、ソート方向を指定することも可能です (昇順の場合は `asc`、降順の場合は `desc`)。

例:

Events: severity > normal sortby time desc

このクエリーは、normal より重大な全イベントを時間順で返します (降順)。

2.8. データセンターの検索

以下の表には、データセンターの全検索オプションをまとめています。

表2.4 データセンターの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Clusters.clusters-prop	プロパティタイプによって異なる	データセンターに関連付けられたクラスタのプロパティ
name	文字列	データセンターの名前
description	文字列	データセンターの説明
type	文字列	データセンターのタイプ
status	一覧	データセンターの稼働状況
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

Datacenter: type = nfs and status != up

この例では、ストレージタイプが NFS で、ステータスが Up 以外のデータセンターの一覧が返されません。

2.9. クラスタの検索

以下の表には、クラスタの全検索オプションをまとめています。

表2.5 クラスタの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Datacenter.datacenter-prop	プロパティタイプによって異なる	クラスタに関連付けられたデータセンターのプロパティ

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Datacenter	文字列	クラスターが属するデータセンター
name	文字列	ネットワーク上でクラスターを識別する一意名
description	文字列	クラスターの説明
initialized	文字列	true または false でクラスターのステータスを指定
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

Cluster: initialized = true or name = Default

この例では、初期化されたクラスターまたは Default と名前が付けられたクラスターの一覧が返されます。

2.10. ホストの検索

以下の表には、ホストの全検索オプションをまとめています。

表2.6 ホストの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Vms.Vms-prop	プロパティタイプによって異なる	ホストに関連付けられた仮想マシンのプロパティ
Templates.templates-prop	プロパティタイプによって異なる	ホストに関連付けられたテンプレートのプロパティ
Events.events-prop	プロパティタイプによって異なる	ホストに関連付けられたイベントのプロパティ
Users.users-prop	プロパティタイプによって異なる	ホストに関連付けられたユーザーのプロパティ
name	文字列	ホスト名

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
status	一覧	ホストの稼働状況
external_status	文字列	外部システムおよびプラグインによってレポートされるホストのヘルスステータス
cluster	文字列	ホストが属するクラスター
address	文字列	ネットワーク上でホストを識別する一意名
cpu_usage	整数	処理能力の使用率
mem_usage	整数	メモリー使用率
network_usage	整数	ネットワークの使用率
load	整数	任意のタイムスライスにおいて、各プロセッサの run-queue で実行を待機中のジョブ
version	整数	オペレーティングシステムのバージョン番号
cpus	整数	ホスト上の CPU 数
memory	整数	使用可能なメモリー容量
cpu_speed	整数	CPU の処理速度
cpu_model	文字列	CPU のタイプ
active_vms	整数	現在実行中の仮想マシン数
migrating_vms	整数	現在移行中の仮想マシン数
committed_mem	整数	メモリーのコミット率
tag	文字列	ホストに割り当てられたタグ
type	文字列	ホストのタイプ
datacenter	文字列	ホストが属するデータセンター

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

Host: cluster = Default and Vms.os = rhel6

この例では、Default のクラスターに属し、オペレーティングシステムが Red Hat Enterprise Linux 6 である仮想マシンを実行しているホストの一覧が返されます。

2.11. ネットワークの検索

以下の表には、ネットワークの全検索オプションをまとめています。

表2.7 ネットワークの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Cluster_network.cluster-network-prop	プロパティタイプによって異なる	ネットワークに関連付けられたクラスターのプロパティ
Host_Network.hostnetwork-prop	プロパティタイプによって異なる	ネットワークに関連付けられたホストのプロパティ
name	文字列	ネットワークを識別する、人間が判読可能な名前
description	文字列	ネットワークを説明するキーワードまたはテキスト。ネットワークの作成時にオプションで使用することができます。
vlanid	整数	ネットワークの VLAN ID
stp	文字列	そのネットワークで Spanning Tree Protocol (STP) が有効かどうか。
mtu	整数	論理ネットワークの最大転送単位
vmnetwork	文字列	ネットワークが仮想マシントラフィック専用かどうか。

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
datacenter	文字列	ネットワークがアタッチされたデータセンター
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

Network: mtu > 1500 and vmnetwork = true

この例では、最大転送単位が 1500 バイトを上回り、仮想マシン専用に設定されているネットワークの一覧が返されます。

2.12. ストレージの検索

以下の表には、ストレージの全検索オプションをまとめています。

表2.8 ストレージの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Hosts.hosts-prop	プロパティタイプによって異なる	ストレージに関連付けられたホストのプロパティ
Clusters.clusters-prop	プロパティタイプによって異なる	ストレージに関連付けられたクラスターのプロパティ
name	文字列	ネットワークでストレージを識別する一意名
status	文字列	ストレージドメインのステータス
external_status	文字列	外部システムおよびプラグインによってレポートされるストレージドメインのヘルスステータス
datacenter	文字列	ストレージが属するデータセンター
type	文字列	ストレージのタイプ
size	整数	ストレージのサイズ

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
<code>used</code>	整数	使用済みストレージ容量
<code>committed</code>	整数	コミット済みストレージ容量
<code>sortby</code>	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
<code>page</code>	整数	表示する結果のページ番号

例

Storage: size > 200 or used < 50

この例では、総ストレージ容量が 200 GB を超えるストレージ、または使用済みのストレージ容量が 50 GB 未満のストレージの一覧が返されます。

2.13. ディスクの検索

以下の表には、ディスクの全検索オプションをまとめています。



注記

ディスクタイプ および コンテンツタイプ のフィルターオプションを使用して、表示される仮想ディスクの数を減らすことができます。

表2.9 ディスクの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
<code>Datacenter.datacenter-prop</code>	プロパティタイプによって異なる	ディスクに関連付けられたデータセンターのプロパティ
<code>Storage.storage-prop</code>	プロパティタイプによって異なる	ディスクに関連付けられたストレージのプロパティ
<code>alias</code>	文字列	ネットワーク上のストレージを識別する、人間が判読可能な名前
<code>description</code>	文字列	ディスクを説明するキーワードまたはテキスト。ディスクの作成時にオプションで使用することができます。
<code>provisioned_size</code>	整数	ディスクの仮想サイズ

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
size	整数	ディスクのサイズ
actual_size	整数	ディスクに割り当てられる実サイズ
creation_date	整数	ディスクの作成日
bootable	文字列	ディスクがブート可能かどうか。有効な値は 0 、 1 、 yes 、 no のいずれかです。
shareable	文字列	ディスクを複数の仮想マシンに同時にアタッチできるかどうか。有効な値は 0 、 1 、 yes 、 no のいずれかです。
format	文字列	ディスクの形式。 unused 、 unassigned 、 cow 、 raw のいずれかを指定することができます。
status	文字列	ディスクのステータス。 unassigned 、 ok 、 locked 、 invalid 、 illegal のいずれかを指定することができます。
disk_type	文字列	ディスクのタイプ。 image または lun のいずれかを指定することができます。
number_of_vms	整数	ディスクがアタッチされている仮想マシンの数
vm_names	文字列	ディスクがアタッチされている仮想マシンの名前
quota	文字列	仮想ディスクに有効化されているクォータの名前
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

```
Disks: format = cow and provisioned_size > 8
```

この例では、QCOW 形式で割り当てられたディスクサイズが 8 GB を超える仮想ディスクの一覧が返されます。

2.14. ボリュームの検索

以下の表には、ボリュームの全検索オプションをまとめています。

表2.10 ボリュームの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Cluster	文字列	ボリュームに関連付けられたクラスタの名前
Cluster.cluster-prop	プロパティタイプによって異なる (例: name、description、comment、architecture)	ボリュームに関連付けられたクラスタのプロパティ
name	文字列	ボリュームを識別する、人間が判読可能な名前
type	文字列	distribute、replicate、distributed_replicate、stripe、distributed_stripe のいずれかを指定することができます。
transport_type	整数	tcp または rdma のいずれかを指定することができます。
replica_count	整数	レプリカの数
stripe_count	整数	ストライプの数
status	文字列	ボリュームのステータス。up または down のいずれかを指定することができます。
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

Volume: transport_type = rdma and stripe_count >= 2

この例では、トランスポートタイプが RDMA に設定され、ストライプ数が 2 以上のボリュームの一覧が返されます。

2.15. 仮想マシンの検索

以下の表には、仮想マシンの全検索オプションをまとめています。

表2.11 仮想マシンの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Hosts.hosts-prop	プロパティタイプによって異なる	仮想マシンに関連付けられたホストのプロパティ
Templates.templates-prop	プロパティタイプによって異なる	仮想マシンに関連付けられたテンプレートのプロパティ
Events.events-prop	プロパティタイプによって異なる	仮想マシンに関連付けられたイベントのプロパティ
Users.users-prop	プロパティタイプによって異なる	仮想マシンに関連付けられたユーザーのプロパティ
Storage.storage-prop	プロパティタイプによって異なる	仮想マシンに関連付けられたストレージデバイスのプロパティ
Vnic.vnic-prop	プロパティタイプによって異なる	仮想マシンに関連付けられた仮想NICのプロパティ
name	文字列	仮想マシンの名前
status	一覧	仮想マシンの稼働状況
ip	整数	仮想マシンの IP アドレス
uptime	整数	仮想マシンの実行時間 (分単位)
domain	文字列	これらのマシンをグループ化するドメイン (通常は、Active Directory ドメイン)
os	文字列	仮想マシンの作成時に選択したオペレーティングシステム
creationdate	日付	仮想マシンの作成日
address	文字列	ネットワーク上で仮想マシンを識別する一意名
cpu_usage	整数	処理能力の使用率
mem_usage	整数	メモリー使用率

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
<code>network_usage</code>	整数	ネットワークの使用率
<code>memory</code>	整数	定義済みの最大メモリー
<code>apps</code>	文字列	仮想マシンに現在インストールされているアプリケーション
<code>cluster</code>	一覧	仮想マシンが属するクラスター
<code>pool</code>	一覧	仮想マシンが属する仮想マシンプール
<code>loggedinuser</code>	文字列	仮想マシンに現在ログインしているユーザーの名前
<code>tag</code>	一覧	仮想マシンが属するタグ
<code>datacenter</code>	文字列	仮想マシンが属するデータセンター
<code>type</code>	一覧	仮想マシンのタイプ (サーバーまたはデスクトップ)
<code>quota</code>	文字列	仮想マシンに関連付けられたクォータの名前
<code>description</code>	文字列	仮想マシンを説明するキーワードまたはテキスト。仮想マシンの作成時にオプションで使用することができます。
<code>sortby</code>	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
<code>page</code>	整数	表示する結果のページ番号
<code>next_run_configuration_exists</code>	ブール値	仮想マシンに保留中の設定変更があるかどうか。

例

```
Vms: templates.name = Win* and user.name = ""
```

この例では、ベーステンプレート名が Win で始まり、いずれかのユーザーに割り当てられている仮想マシンの一覧が返されます。

例

Vms: cluster = Default and os = windows7

この例では、属するクラスター名が Default で、Windows 7 オペレーティングシステムを実行している仮想マシンの一覧が返されます。

2.16. プールの検索

以下の表には、プールの中検索オプションをまとめています。

表2.12 プールの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
name	文字列	プールの名前
description	文字列	プールの説明
type	一覧	プールのタイプ
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

Pools: type = automatic

この例では、タイプが **自動** に設定されたプールの一覧が返されます。

2.17. テンプレートの検索

以下の表には、テンプレートの全検索オプションをまとめています。

表2.13 テンプレートの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Vms.Vms-prop	文字列	テンプレートに関連付けられた仮想マシンのプロパティ
Hosts.hosts-prop	文字列	テンプレートに関連付けられたホストのプロパティ
Events.events-prop	文字列	テンプレートに関連付けられたイベントのプロパティ

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Users.users-prop	文字列	テンプレートに関連付けられたユーザーのプロパティ
name	文字列	テンプレートの名前
domain	文字列	テンプレートのドメイン
os	文字列	オペレーティングシステムのタイプ
creationdate	整数	テンプレートの作成日 日付の形式: mm/dd/yy
childcount	整数	テンプレートから作成された仮想マシンの数
mem	整数	定義済みのメモリー
description	文字列	テンプレートの説明
status	文字列	テンプレートのステータス
cluster	文字列	テンプレートに関連付けられたクラスター
datacenter	文字列	テンプレートに関連付けられたデータセンター
quota	文字列	テンプレートに関連付けられたクォータ
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

Template: Events.severity >= normal and Vms.uptime > 0

この例では、作成した仮想マシンで重大度が normal 以上のイベントが発生し、仮想マシンがまだ実行中であるテンプレートの一覧が返されます。

2.18. ユーザーの検索

以下の表には、ユーザーの全検索オプションをまとめています。

表2.14 ユーザーの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Vms.Vms-prop	プロパティタイプによって異なる	ユーザーに関連付けられた仮想マシンのプロパティ
Hosts.hosts-prop	プロパティタイプによって異なる	ユーザーに関連付けられたホストのプロパティ
Templates.templates-prop	プロパティタイプによって異なる	ユーザーに関連付けられたテンプレートのプロパティ
Events.events-prop	プロパティタイプによって異なる	ユーザーに関連付けられたイベントのプロパティ
name	文字列	ユーザーの名前
lastname	文字列	ユーザーの姓
username	文字列	ユーザーの一意名
department	文字列	ユーザーが属する部署
group	文字列	ユーザーが属するグループ
title	文字列	ユーザーのタイトル
status	文字列	ユーザーのステータス
role	文字列	ユーザーのロール
tag	文字列	ユーザーが属するタグ
pool	文字列	ユーザーが属するプール
sortby	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
page	整数	表示する結果のページ番号

例

Users: Events.severity > normal and Vms.status = up or Vms.status = pause

この例では、所有する仮想マシンで normal より重大なイベントが発生し、仮想マシンがまだ実行中であるユーザー、または所有する仮想マシンが一時停止中であるユーザーの一覧が返されます。

2.19. イベントの検索

以下の表には、イベントの検索に使用できる全検索オプションをまとめています。多くのオプションで、適宜オートコンプリート機能が利用可能です。

表2.15 イベントの検索

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
Vms.Vms-prop	プロパティタイプによって異なる	イベントに関連付けられた仮想マシンのプロパティ
Hosts.hosts-prop	プロパティタイプによって異なる	イベントに関連付けられたホストのプロパティ
Templates.templates-prop	プロパティタイプによって異なる	イベントに関連付けられたテンプレートのプロパティ
Users.users-prop	プロパティタイプによって異なる	イベントに関連付けられたユーザーのプロパティ
Clusters.clusters-prop	プロパティタイプによって異なる	イベントに関連付けられたクラスターのプロパティ
Volumes.Volumes-prop	プロパティタイプによって異なる	イベントに関連付けられたボリュームのプロパティ
type	一覧	イベントのタイプ
severity	一覧	イベントの重大度: warning/error/normal
message	文字列	イベントタイプの説明
time	一覧	イベントの発生日
username	文字列	イベントに関連付けられたユーザー名
event_host	文字列	イベントに関連付けられたホスト
event_vm	文字列	イベントに関連付けられた仮想マシン
event_template	文字列	イベントに関連付けられたテンプレート

リソースまたはリソースタイプのプロパティ	タイプ	説明
<code>event_storage</code>	文字列	イベントに関連付けられたストレージ
<code>event_datacenter</code>	文字列	イベントに関連付けられたデータセンター
<code>event_volume</code>	文字列	イベントに関連付けられたボリューム
<code>correlation_id</code>	整数	イベントの識別番号
<code>sortby</code>	一覧	いずれかのリソースプロパティ順に検索結果を並べ替え
<code>page</code>	整数	表示する結果のページ番号

例

Events: Vms.name = testdesktop and Hosts.name = gonzo.example.com

この例では、`gonzo.example.com` というホストで実行していた `testdesktop` という名前の仮想マシンで発生したイベントの一覧が返されます。


第3章 ブックマーク

3.1. クエリー文字列のブックマークとしての保存

ブックマークを使用すると、検索クエリーを保存したり、他のユーザーと共有したりすることができます。

クエリー文字列のブックマークとしての保存


1. 検索バーに必要な検索クエリーを入力し、検索を行います。
2. 検索バーの右側にある星型の **現在の検索をブックマーク** ボタンをクリックし、**新規ブックマーク** ウィンドウを開きます。
3. ブックマークの **名前** を入力します。
4. 必要に応じて **検索文字列** フィールドを編集します。
5. **OK** をクリックします。

ヘッダーバーの **ブックマーク** アイコン () をクリックし、リストの中から希望のブックマークを選択します。

3.2. ブックマークの編集

ブックマークの名前および検索文字列を変更することができます。


ブックマークの編集

1. ヘッダーバーの **ブックマーク** アイコン () をクリックします。
2. ブックマークを選択し、**編集** をクリックします。
3. 必要に応じて、**名前** および **検索文字列** フィールドを変更します。
4. **OK** をクリックします。

3.3. ブックマークの削除

ブックマークが不要となった場合には削除してください。

ブックマークの削除


1. ヘッダーバーの **ブックマーク** アイコン () をクリックします。
2. ブックマークを選択し、**削除** をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

第4章 タグ

4.1. タグを使用した、RED HAT VIRTUALIZATION との対話のカスタマイズ

Red Hat Virtualization プラットフォームをセットアップして、要件に応じた設定を完了したら、タグを使用して作業に適したカスタマイズを行うことができます。タグにより、システムリソースのグループ分け/カテゴリー分けが可能となります。これは、仮想化環境に多数のオブジェクトが存在し、それらの中のある特定のセットを対象に管理者が集中的に作業を行う場合に役立ちます。


このセクションでは、タグの作成と編集、ホストまたは仮想マシンへのタグ割り当て、タグを条件とした検索の方法について説明します。タグは、特定の構造に合わせて階層化し、エンタープライズ環境のニーズに対応することができます。

管理ポータルのタグを作成、変更、および削除するには、ヘッダーバーの **タグ アイコン** () をクリックします。

4.2. タグの作成

タグを作成すると、これを使って検索結果を絞り込むことができます。


タグの作成

1. ヘッダーバーの **タグ アイコン** () をクリックします。
2. **追加** をクリックして新しいタグを作成します。あるいは、タグを選択し、**新規作成** をクリックしてそのタグの子要素を作成します。
3. 新しいタグの **名前** および **説明** を入力します。
4. **OK** をクリックします。

4.3. タグの変更

タグの名前と説明を編集することができます。

タグの変更

1. ヘッダーバーの **タグ アイコン** () をクリックします。
2. 変更するタグを選択し、**編集** をクリックします。
3. 必要に応じて、**名前** および **説明** フィールドを変更します。
4. **OK** をクリックします。

4.4. タグの削除

タグが不要となった場合には削除してください。

タグの削除

1. ヘッダーバーの **タグ アイコン** () をクリックします。

2. 削除するタグを選択し、**削除** をクリックします。タグを削除するとそのタグの子要素もすべて削除されることを警告するメッセージが表示されます。
3. **OK** をクリックします。

タグとその子要素がすべて削除されました。このタグがアタッチされていたオブジェクトからも削除されます。

4.5. オブジェクトへのタグの追加と削除

ホスト、仮想マシン、ユーザーにタグを割り当てたり、削除したりすることができます。

オブジェクトへのタグの追加と削除

1. タグ付けまたはタグ付けを解除するオブジェクトを選択します。
2. **その他の操作** → **タグを割り当て** をクリックします。
3. オブジェクトにタグを割り当てるには、チェックボックスを選択します。オブジェクトからタグを解除するには、チェックボックスからチェックを外します。
4. **OK** をクリックします。

指定したタグが選択したオブジェクトのカスタムプロパティとして追加または削除されました。

4.6. タグを使用したオブジェクトの検索

tag をプロパティとして、必要な値/値セットを検索条件として使用して、検索クエリーを入力します。

指定した条件でタグ付けされたオブジェクトが結果一覧に表示されます。